

平成 28 年度 佐渡市図画工作部 活動報告

部長 川邊 美恵子（羽茂小）

1 研究主題

「実践的な研修の場を設け、版画指導の指導力向上を図る」

2 研究の概要と実際

(1) 日 時 11月30日（水） 14時～16時45分

(2) 会 場 金井小学校

(3) 指導者 伊藤 秀昭 様

(4) 内 容

① 版画の彫りについての基礎理解

彫り進めるときには、白と黒の計画を立てることが大切なこと、ハーフトーンの扱いなどを教えていただいた。また、彫り方では、ハーフトーンの表現を中心に教えていただき、白、黒、ハーフトーンのバランスを考えた版画の構成を学ぶことができた。



② 彫刻刀の特徴

小学生が使用する彫刻刀の特徴について、それぞれ使いながら教えていただいた。また、あると便利な彫刻刀も紹介していただき、実際に使って研修することができた。



③ 彫り方指導

平刀や小丸刀を使って、ハーフトーンの彫り方を実際に見せていただいた。その後各自が用意した下絵を版木に転写して版木を彫った。伊藤先生が持ってきて下さった、たくさんの作品例を見ながら、題材にあった彫り方を選び、彫刻刀の使い方を練習することができた。



④ まとめ

今回の研修で、版画の学習では、子どもたちの彫り方を選び、彫刻刀の使い方を練習することができた。また、版画の学習では、子どもたちの彫りの参考になる作品例を学校で保存しておくことよいことを学んだ。絵画と違い、何枚も刷ることができる版画ならではの資料だと実感できた。

3 成果と課題

伊藤先生からは、版画の下絵や版木に転写してから彫り始めるまでの技術指導、「線」を先に彫らないことや「面」の彫り方、そして、彫り損じたときの対処の仕方まで教えていただいた。初期の版画指導では、どうしても線に沿って彫らせてしまうことも多く、今後の指導に大変役に立つことばかりであった。

今後とも会員の声을大事にしながら、研修を重ね、日々の指導に生かしていきたい。